

令和 8 年度第 4 回
新宿区外部評価委員会第 1 部会 会議概要

＜開催日＞

令和 8 年 8 月 2 1 日（金）

＜場所＞

本庁舎 6 階 第 4 委員会室

＜出席者＞

外部評価委員（5 名）

竹内真雄、戎井一憲、風間義民、大川内初実、大西秀明

区職員（事務局）（3 名）

林副参事（特命担当）、西崎主査、久住主査

＜開会＞

【部会長】

皆さん、こんにちは。ただいまから第 4 回新宿区外部評価委員会第 1 部会を開催します。

本日は評価の取りまとめとして経常事業、計画事業に対する評価を取りまとめ、それらを踏まえて評価結果を取りまとめます。

それでは、議事に入る前に本日の配付資料の確認をお願いいたします。

【事務局】

それでは、本日の配付資料を確認させていただきます。

まずは、次第をお配りしております。

次に、外部評価チェックシートをお配りしております。カラー刷りの両面のものですが、この外部評価チェックシートは、委員の皆様からご提出いただいた評価内容を事業ごとに取りまとめたものとなっております。また、それとは別に、部会としての評価書（チェックシートの取りまとめについて第 1 部会）という資料を別に 1 枚お配りしております。こちらは 2 年前にも皆様にお配りした資料なのですが、それを基に今回、部会長のほうで一部修正を加えて作成していただいたものになっています。部会としての評価の取りまとめに当たっての考え方などを整理した資料ですので、ご一読いただければと思います。

配付資料は以上となりますが、不足等はございませんでしょうか。

それでは、配付資料の確認は以上です。

【部会長】

ありがとうございます。私のほうで案で配ったもの、2年前に配ったものなのですが、一応ちょっと説明させてもらえればと思います。評価の決め方なのですが、5人の委員の多数決にして一番多かった評価を基本にしたいと思います。ただ、2、2、1等で評価が分かれた場合は話し合いを基本としたいと思います。あと、評価理由は第1部会としての結論を書くため、最後は全員の意見になるため、各委員が個人で判断を下す過程の表現、分かりました、80%納得できました、こう書いてあったのは、確認できました等は省略したいと思います。あと、今後の取組の方向性に対する意見は、個人の意見でも部会としての意見と取られるため、個人的な意見と思われるものは省略したいと思います。その他意見・感想についても、個人的な意見と思われるものは省略したいと思います。

あと、記載した事項については全て関連部署が対応する必要があるため、このまま進めてくださいとか、今後も期待します等の定例的なものは省略したいと思います。私も書いているんですけども、正式なものを出すときは省略したいと思います。重複している記載は一本化して、スリム化を図りたいと思います。あと、疑問を書いている、質問を記載しているものについては、部会としての評価書の案には記載せずに、事務局を通じて質問、回答の手続を行ってもらえればと思います。

これで進めたいんですが、大丈夫でしょうか。

ありがとうございます。

それでは早速、評価の取りまとめを行いたいと思います。委員の皆様は外部評価チェックシートが配られていて、このチェックシートには各委員の評価や意見が記載されていますので、これを基に部会としての評価の取りまとめを行います。指名された委員はご自分の評価、意見、補足説明等を順番に行ってもらえればと思います。一応記載したことを、1ページ目は全体だから、20①から、こういうつもりで書いたというのを簡単に言ってもらって、それで最後に取りまとめていきたいと思います。

最初の1枚目の表裏がテーマ評価で、全体通して最後に行うので、1枚めくっていただいて20①の建築物の耐震性強化です。今見たら、ちょうど割れていまして、ちょっとばらばらになっていますね。記載の順番に私のほうからちょっと考えを述べて、最後にまとめていければと思います。

私のほうは書いたとおり、目標に達しなかったものがあるけれども、対象企業の拡大、中小企業以外も対象にしたりだとか、面積単価を上げたり、相手があるから仕方がない面もあったけれども、それでも何とかしようという、活動を実施していて改善が期待できるため、計画どおりとしました。

全体としてなんですけれども、皆さん、これまで組織のマネジメントとかを扱ったことがあるかなんですけれども、外部的な要因で駄目だったときに駄目出しをすると、組織がやる気なくなっちゃうかなと若干思っています。例えばなんですけれども、トヨタのディーラーで車売る商売をやっていたときに、トヨタの新車が出たら、みんな楽しみにしているから来年はどんどん売ろうと思っていたら、新車の発売が延期された、計画未達だから、おまけの評価は駄目という、いや、俺のせいじゃないし、社長、それ何でか分かっているでしょうという感じでやる気なくなったりだとか、あまり無茶を言うと、目標自体、1年ゆっくり目にやって、早めにやったら褒められるし、計画どおり緩くしちゃえばいいんじゃないかとか、変なモラルが下がっちゃうのをちょっと心配していて、理由があつたりとか、ある程度自分なりに努力していれば、数字が間に合わなくても計画どおりぐらいあげていいんじゃないかと思って、ちょっとそういうふうな考えで計画どおりにしております。

では、委員から簡単に。

【委員】

私も部会長とほぼ同じ意見で、未達の部分もあるけれども、きちんと理解できていて、あと住民の事情によるところも大きいので仕方がないのかなというので、計画どおりです。

【部会長】

委員、お願いします。

【委員】

この間の区の職員とのヒアリングで私いろいろと聞いて、数字並べていますけれども、たしか東京都全体が89%なんです。その中で新宿区は96.6%、比べると、年度ごとの増減は確かにあるかもしれませんが、全体の流れとしてはかなり計画以上だと思って、数値上判断しました。それと、これもヒアリングで聞いた数字で、この数字が正しいかどうか分かりませんが、あと3.4%なんです。そうすると、結構もう計画に達しつつあるぐらいの水準だと思って、計画以上と書きました。エレベーターについては10年前の2倍、今想定されていますけれども、目標件数は達しているのが計画以上。主にはこの間のヒアリング

の区の職員からいただいた数字を見ると、客観的に見て計画以上なんじゃないかと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

書いている順番で、委員。

【委員】

悩んだんですけども、取りあえず2つに分けました。エレベーターに関しては目標も達成していたので、計画どおりでいいと思うんですが、ブロック塀のほうに関しては34件のうち2件というのが、ちょっと私の中では非常に引っかかりまして、それで、ちょっと絞れなかったんで、事務局の方には申し訳なかったんですが、理由を書いて2つに分けました。この場で皆さんの意見を伺って、最終的に決めたいなと私は思っております。ブロック塀って非常に、この間実際見て回ったときに、すごい崖っぷちのところがあって、普通歩いていたら全く気づかないようなところが断崖絶壁というか、ちょっと危険だなと思ったりもしたので、住んでいる方もいるし、いろいろ状況を説明していただいたので、非常に困難だということも理解しております。でも、それだったら無理な目標を立てずに、最初からもうちょっと、どう考えても住んでいる方が家を引っ越したりしないと取りかかれない工事でもあるので、そういう状況は絶対もう最初の段階で分かっていたと思うので、その設定の仕方にちょっと問題があったのかなというのもあったので、ここはあえて計画以下という評価にいたしました。

【部会長】

委員、お願いします。

【委員】

私も、甘く評価しておりましたら全部計画どおりになっちゃったんですよね。それで、もう一回読み返してみると疑問に思うようなところも随分出てきちゃったもので、やはりこれも以下、以下と、自分の心に言い聞かせて、やはり計画どおりとすると、今後もうそれでいいものだと思って、それで進んでいっちゃうのかなという懸念があったので、委員のお話の中にもありましたけれども、もう達成されつつあるところと、やはりそうじゃないところとばらつきがあるような気がして、私の評価は計画以下としたのは、やはりブロック塀の除

去件数が年間 2 件だという件ですね。こちらの耐震化促進計画のほうはずっと 10 年以上の年度のあれを見ても、ここのところはやっぱりずっとすごく減少しているんですね、件数自体が。ですから、ブロック塀がなくなってきているのかなとも思ったんですけども、やはりそうではなくて、さっきちょっと写真を見せたんですけども、こういう避難路というか、通学路にもなっているような気もするんですけども、区道の横にこういう万年塀がそのまま放置されて、これ傾いているんですよ。これ地震が来たら大変だなと思うんですけども、ここに紙が貼ってあって、危ないから塀から離れて歩きましょうというふうに貼ってあるんですね。しかしながら、これアパートがあつて、その奥にもアパートがあつて、すごく広い敷地なんですけれども、こういう万年塀がそれこそ何十メートルにわたってずっとあると。これ結構、皆さん、離れて歩きましょうと書いてあるけれども、私も横から行くと、塀に沿って歩いてしまうんですね。こういうものが現にあるということを考えたときに、これをどうするのか、そのまま放置しておくのか、地震が来たらこれは確実に危ないなと思って写真撮ってきたんですけども、こういう現状があるもので、やはり 2 件というのはいかにも少ない。

その上の特定緊急輸送道路の沿道の建築物の啓発が 84 件ということは、まだ 84 件残っているということだと思うんですけども、やはり 84 件ってかなり残っているんじゃないかなと。今これは幹線道路に沿ってもし火災等が発生したときに、その中の住宅で外へ、道路から向こうへ燃え移らないためにビルを建てて、一つの塀みたいにして、その地域だけでとどめようというのと、緊急輸送道路として物資を運ぶために、建物が壊れると道路が通行できないからということではあるんですけども、こういうのが、二、三軒崩れてしまうと、もう通行止めをせざるを得ないような状況にもなりつつあるので、早急にこういうのは取り組んでいただきたいというのが現状で、そのこともあつて計画以下とさせていただきます。

以上です。

【部会長】

何か意見ある方いらっしゃいますか。

【委員】

委員がおっしゃられた、確かにブロック塀の実績が 2 件というのは、私もこれは少ないと思って、今後の取組の欄には指摘させていただいています。だけれども、このテーマ、計画

事業全体はブロック塀の対策じゃなくて、建築物全体の耐震化が進んでいるかというのがメインテーマになっていますから、ブロック塀だけだったら私も計画以下というのは賛成するんですけども、これテーマが大きいんですね、建物、まち全体の耐震化がどのくらいできているかということをお問われているわけですから、私が申し上げたのは、東京都 89% に対して新宿区 96. 何%というのは、明らかに計画以上だとは思いますがね。

以上です。

【委員】

数字から見ると、そのとおりだと思います。96. 幾つとなると、もうほぼ終わっているんじゃないか、済んでいるんじゃないかと思うんですけども、この前の若葉・須賀町地区を見て歩いても、地域によってまだまだのところが見受けられるし、私も西新宿五丁目の南エリアをずっと歩いてみたんですけども、やはり大変古い住宅も残っているんですね。実はこれ、うちの近所なんですけれども、こういうアパート、これも空き家住宅になっています。こういうものが残っておりますし、確かに新宿、この周辺や幹線道路沿いを見ると、いかにももうビルが建って、マンションが建って、ほぼ完成したようなニュアンスで受け止めるんですけども、やはり一歩そういう木造密集地域等に入ってみると、本当に細街路の奥にそういう、まだ、これ大丈夫なのというような建物がかなりあるもので、これで万歳はできないんじゃないかなと思って、辛口かも知れませんが、評価させていただきました。

【部会長】

私の意見なんですけれども、新宿区でできることって限られているというか、まずアクションして、相手が出てきて応じてくれないとしようがないので、日本は所有権というものが認められているので、勝手に新宿区が壊すわけにもいかないしということで、相手方、もうやれるだけやって、多分残っているのはかなり対応が難しい、例えば高齢の方が所有者で、手紙を送っても連絡が取れないし、施設に入っているかもしれない。言い方は悪いんですけども、所有者の状況が変わるまで対応が難しい状況かもしれないです。それで、多分もう対応が難しい物件だけ残っていて、それで 2 件しか進まなかったんじゃないかなとちょっと思っているところです。じゃ、最初から 2 件を目標にすればよかったんじゃないかということ、命がかかっているのに、最初から今年中に完全解決を目指さないのかという話にもなるから、それも、相手があるけれども、できたら今年中にこれだけ目指したいという目標は出すけれども、結果的に頑張っても、認められなかったのは仕方がない面もあるんじゃないかなと

いうので、例えばですけれども、自分が新宿区の職員になって、このブロック塀どうやって解決するかと、ちょっと私思いつかないですね。できないことをできていないと言うのもあれなので、ブロック塀どうするかと言えないと、ちょっと。頑張ってもらわなければならないんですけれども。

【委員】

さっきのこれではないですけれども、やはりブロック塀の除去等の助成に関して、45 ページの真ん中あたり、令和3年13件、令和4年16件、令和5年が11件、それなのに何で令和7年が2件なのという、極端なんですね。ですから、十数件であればまだ、頑張っているのかなと。それで、危険なブロック塀がなくなっているんだったら、それはそれでいいんですよ。ですけれども、まだかなり細街路のところ、ブロック塀が見当たるもので、応じてくれないから手をつけられないだけでは、やはり何度も足を運んでコンタクトを取るとか、個人的にいろいろな手法をご説明するとか、そうしないと、待っているだけでは全然解消できないと思うんですよね。だから、それを今後どのようにしたらいいのかというのも一つの問題だと思います。

【委員】

委員がおっしゃることはよく分かります、ブロック塀が進んでいない。これは私の記憶ですけれども、区の職員のヒアリングとか視察のときにいろいろ聞いたら、さっき部会長がおっしゃったこととダブるかもしれませんが、結局、道路をセットバックしないと、ブロック塀が建物にくっついていたりしますから、そのセットバックできるかどうかというのは建て替えのタイミングを待たなきゃいけないから、年度によって差が出てくるという実情は理解できると思うんですね。単に無理にブロック塀だけやれやれと言っても、やっぱりできない場合もあるので、お二人の、確かにブロック塀が足りないところは私もそう思って、今後の取組に書いたんですけれども、今後の取組として記載するのはいいけれども、繰り返しですけれども、この全体の評価にブロック塀のことをあまり前面に言って、全体の評価まで影響させるのはいかがかなと思っています。

【委員】

ちょっとその前に、いいですか。今の議論は、そもそも今回、これに限らずですけれども、事業として担当している部署とかに対して内部評価、外部評価、仕事としての評価というのと、あとおっしゃるのは、災害に対してどうであるかという二つの側面があって、エレベーター

ターとブロックと耐震化率とで、本来であれば災害に対しては別々に評価すべきものだけれども、事業としては同じ課とか部とかがやっているから、その部の仕事に対しての評価という2つが混じっているわけですね。今回我々がやっているというのは、区役所の仕事としてどうなのかということなので、ブロック塀は駄目です、エレベーターはできています、でも、その課とか部としては仕事やっておられますねとかというのか、本来の防災としてどうあるべきかを考えると当然、ブロック塀ができていないのは、それはおかしいことなんですよね。だから、一つはそもそもどっちの視点なのかというのを目合わせることと、とはいってもブロック塀2件というのは少な過ぎるので、前提としては、計画どおりか何か評価するかもしれないですけども、ちょっと注釈として、ブロック塀については十分とはいえないですよ、とつけるとか、多分そういうふうな書きぶりにするしか話はまとまらないのかなと思ったんですけども、いかがですか。

【委員】

確かにそのとおりではあるんですけども、この大きなテーマが防災対策の強化という、逃げないで済むまちづくりだとか、そういうことになっているんですけども、このブロック塀というのは、セットバックをして下がるからブロック塀を外すという状況じゃないんですよ。大阪で起きた地震でもやはりブロック塀が倒れて亡くなったりしているので、そういうことからあっても、やはりブロック塀を生け垣だとかフェンス塀に交換しようと、家はそのまま結構なんです、道も細くていいんですよ。セットバックしなくちゃいけないというのはまた別な話で、ブロック塀に対して危ないから、それを生け垣にしたりフェンスにしたりしようというのが一つの目的だと思うので、だから、それを考えると、防災対策の強化から行くと、やはりブロック塀をもっともっと力を入れて除去するなり、安全対策を講ずるのが筋ではないかなと私は思うんです。

以上です。

【部会長】

除去とか安全対策は新宿区だけでできないですよ、やる人がいないと。補助はできるけれども、新宿でできるんだったら、もうやってくれていると思うんですけども。ほかが89けれども、96まで行ったから、もう何回もアクションして連絡がない人とか、もう判断ができなくなっている人、相続人がいるけれども遠くにいる人とか、そういう条件がある人が残ったら、どうしてもペースは遅くなっていくので、ちょっとそれ、思いは分かるんですけ

れども、新宿区で勝手に撤去したりとかできないから。

【委員】

当然そう、当たり前のことですよ。勝手に区が行ってそこを撤去することは当然できないんですけれども、それに対する努力をどのようにしているかということも大事なことであって、やはりそういうのを今後していかないと、いつまでも待っていたのでは進みませんよという、それが防災対策だと私は思うんですね。一つの意見として、計画どおりとするのであれば計画どおりとして、今後の取組として、本当にそちらのほうを力を入れていただきたいというのを、ぜひお願いしたいと思います。

何か委員はご意見。

【委員】

確かに委員がおっしゃったように、評価としてトータルで大体できているから計画どおりというのも、私は一つの意見としては可能だとは思いますが、なので分けたんですけれども。ただ、ブロック塀というのはかなり危険だと思うんですよ。特に木密地域みたいなところは古い建物が多くて、確かに相続関係とかいろいろあるので勝手に壊せない、それは分かっています。ただ、さっき委員がおっしゃったみたいに、ブロック塀を撤去してほかのものに作り替えるということは全然、建物を退かさなくてもできる範囲でもあるので、場所にあるとは思いますが。

【部会長】

ただ、新宿区はできないですよ。

【委員】

新宿はやれないですけれども、でも、住んでいる方がやれますよね、それは。

【部会長】

住んでいる方の理解が得られなければ、毎年働きかけても対応につながらない場合があります、そうした案件が多く残っている感じですよ。

【委員】

7年度末時点というところで書いてあるんですけれども、問合せはあるものの実施に至らない状況ですというのが書いてあって、8年度を取組方針にも、アドバイザーを派遣したりとか、啓発活動を行ったりとか、助成の利用を促すことで推進していきますと書いてはあるんですけれども、なぜ実施に至っていないのかというところは言及されていないので、やっぱりちょっと分析が十分ではないかなと思うんです、内部評価自体が。2件しかできないと

というのは、事情もあると思います。だけれども、来年の目標も20件で設定してあって、さっき紹介されたところでも20件は行っていないんですよ、この3年間に。行っている年もあるかもしれないですけども、見えるところでは20件を超えていないのに、来年も20件と目標を設定してあること自体も甘いと思うんですよ。なので、この部分は計画以下としたんですが、全体評価として、おっしゃったように計画どおりにしてもいいですが、やっぱりブロック塀というのは命にも関わって、実際死亡事故も起きている部分もあるので、そこは結構強めの意見か何かを書いてというのが折衷案かなと思います。

【部会長】

最初に言った話なんですけど、命もあるという話なので、今年2件だから来年も2件ですよという20件を目指さなくなるじゃないですか。目標が甘いと言うけれども、ただ、命がかかっているから、目標は全件を目指したいけれども、難物が残っている。ただ、2件やればオーケーというのは新宿区としては言えないですよ、多分。ほかの18件はもう見捨てるのか、諦めるのかといったら、我々は全件撤去を年内に目指してはいるけれども、現実的に難しいと思っても、そこまで斟酌するかどうかはあれですけども、見込みが甘いと言われたら、こっちの事情も分かってくれないのかという思うところあるかもしれない。ちょっと役所に甘い言い方かもしれないですけども。

【委員】

確かに20件でいいのかという話は別なんですけれども、現実、過去にも20件は超えていないわけで、目標が。去年は1割だったと。1割以下ですよ、去年は34件のうちの2件なので。それが今年は20件にしましょう、確かに目標が高いのはいいですが、そこに実際とのギャップがあり過ぎると意欲も落ちると思うんですよ、担当者も。どうせまたこんな20件、できるわけないよねとなっちゃうと思うので、もうちょっと15件とか、少し下げて、実現可能な、例えば去年2件だったから今回取りあえず10件にしましょう、その代わり100%頑張らしましょうとか、何かそういうふうに意欲が出るような目標設定をしてあげるのも一つだし、どうして実施に至らなかったかという分析を行わないと来年度に成長できないと思うんですよ。何が悪くて実施ができなかったのかというのがここには書かれていないですね、具体的にどういうことだったか、これを質問しなかったから悪いんですけども。なので、ちょっとそこら辺ははっきり強めにやっていただかないと難しいのかなと、全体の流れとして。

【部会長】

何もやらなかったわけじゃなくて、面積単価とか助成割合の拡充だとか、対象企業の拡大とかはやっているんです。私も、似た感じのところで何も新しいことをやっていないところは計画以下にしているところがあるんですけども、ここはちゃんとやろうとしている、向上させようとしているところが見えたので、それをもって計画どおりにしている感じです。何も考えていないというわけじゃなくて、ちゃんとやっているところは、努力しているところは見えている感じがしています。

【委員】

だから、トータルとして計画どおりの意見も多いので、多数決なら計画どおりでいいのかなとは思いますが、やっぱり十分でないところはきちんと十分でないということで明確に、ここはちょっと違うんだよねというのは意思表示として出していただければと思います。

【事務局】

補足ですが、先日のヒアリングにおいても同様のご質問をいただいておりますので、防災都市づくり課長から説明があった内容について、念のため要点を整理の上、改めて共有させていただきます。

実施に至らない理由の一つとしては、防犯上の観点から塀の存続を希望する所有者がいることが挙げられます。また、幅員4メートル未満の道路に面する敷地では、塀の建て替え時にセットバックが必要となる場合があるため、敷地条件によっては新たな塀の設置が難しくなることがあります。そのため、ブロック塀の除却のみを進めることについて、所有者の理解を得ることが難しい場合があります、事業の活用に至らないことがあるとの説明がありました。また、こうした課題を踏まえ、区では令和8年度に、既に道路拡幅が完了している道路に面するブロック塀を対象として、所有者への個別啓発を実施する予定であるとのことでした。

先日のヒアリングでは、おおむねこのような説明がございましたので、参考までに共有させていただきます。こうしたやり取りからも、所管課として課題を認識しており、その対応策についても示されていたものと理解しております。

【委員】

私も計画以上と書いていますけれども、皆さんの意見を聞くと、計画どおりで構いませんけれども、おっしゃるように、ブロック塀だけは今後の取組に書くという形でまとめたらどうなんでしょうかね。

【部会長】

いい案だと。

【委員】

それと、さっきの部会長の意見を補足するわけじゃないですけども、新宿区としては、たしか面積単価の助成だけじゃなくて、この間視察したときに、職員の方が、例えば神社の鳥居の補修費を今までなかったのを、建て替えるようにやったとか、新宿区のやっていること、私は結構あると思いますよ。私は新宿区の関係者ではないですから、別にあまり褒める必要はないですけども、そういうできる努力はしているので、それを評価してあげて、計画以下というのはちょっといかなものかなと思います。

【部会長】

ありがとうございます。ちょっとここにばかり時間を割けないので、よければ計画どおりにして、今後の取組の方向性に対する意見でブロック塀のことをかなり強めに書くというところでどうでしょうか。

事務局のほうで、ちょっとその文章を調整していただいていいでしょうか。最終的に皆さんに取りまとめ案も見えていただくので、評価は計画どおりにさせていただいて、今後の取組に対する方向性なんですけれども、ブロック塀のことがもともとたくさん書いてあるので、委員の意見とかを中心にまとめるような形で、ブロック塀を強めにさせていただければと思います。それでよろしいですか。

【委員】

いいですけれども、このエレベーターの件に関しても、委員が以前ちらっとおっしゃったんだけれども、何でエレベーターに対する問題点が2倍になったのかという疑問を投げかけていらっしやいましたけれども、何か分かったようで分からないみたいな、次から次へとそういう問題が多くなって出てきているというのが。後ほど出てくると思うんですけれども、昭和56年の建築物の件と平成12年からの新建築物の件とか、どちらを取って対応すればいいのというのがあって、取りあえず昭和56年度の建築物を基にやっているんだとは思いますが、新しい基準だと、平成12年の新しい基準ができているわけだから、それに対しても今後やっぱり取り組んでいかなきゃいかんのかなというのを含めて、いろいろな課題が出てきているんじゃないかなというふうに思ったもので、エレベーターの件、分かったようで分からないよね。

【委員】

どういうエレベーターを設置したかみたいな感じでしたかね。どこでも最新のいいものを設置しているわけでもないらしいので、そうなるちょっと基準が達していないとか、ちょっと古いとかというのを設置しているところもあり得るという感じだったので。

【部会長】

それは個別に質問して、もう一度回答してもらおう形でいいでしょうか。

【委員】

数字だけで判断してはいけないんじゃないかなと私は思ったもので、2件というのは少ないといえ少ないんですけれども、やっぱりいろいろな数字で、私たちも数字だけで判断してはいけないなというような気持ちがあった。

こればかりやっているわけにはいきませんが、まちづくりに関しても、計画事業を起こしている地域を対象にというようなことがかなりあるんですね。だから、そのほかのところはもう数字に入っていないものなのか、もともと取り組めないのか、そういうのが非常に疑問で、いかにもできたようにあれしているけれども、一部の地域だけ限定されて、そこだけができたので、それは大いにできたというふうになっているけれども、ほかのところは対象外となっているのかというような、それがいろいろ疑問を感じるので、ちょっとそこらのところをもう一回、私たちも考え直さなくちゃいけないんじゃないかなということもあったので、くどくどと話してしまいました。

【部会長】

取組の方向性に対する意見は、先ほど申し上げたとおり、質問は、東京都の被害想定報告書でエレベーター閉じ込めに対する停止台数が2倍に増えている、これは東京都の見通しが甘かったのかとか、ちょっと回答しづらいですよ、ほかの自治体のことだから、とかは文書でいただければと思います。

あと、その他の意見・感想なんですが、委員はちょっと属人的な、この課長はすばらしいとか、これは削らせていただいて、委員のもちょっと実感がないという、感想になるので、削るけれども、所管に対してメッセージを何らかの形でお伝えするのができれば、それでお願いしたいですが、それでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

【委員】

96.2%自体は、そんなにできているのかと。

【部会長】

先ほど既存不適格とちょっと言ったんですけれども、言葉で何となくお分かりになるでしょうか。建築基準法というのがどんどん厳しくなるんですけれども、新しく法律が厳しくなっても、床面積とかを動かすまでは古いのでオーケーとなっていて、学校とかでこの土地に2万平米の延床が建っていて、今建てたら1万8,000しか建てられないけれども、もう建ててあるため、2万平米で認められているんですけれども、床面積だとか、1平米とか0.何平米でも増えたら最初の1万8,000平米が適用で、これは違法建築だと言われるんですけれども、かなり厳しくて、自転車置場に屋根つけるだけでも、延床増えたから2万から1万8,000にしろとかという感じで、物置を置いただけでも延べ床になっちゃいまして、それで結構厳しい感じです。生け垣をいじることで、昔だったら建ててよかったけれども、

生け垣をいじったから、もういじった瞬間に違法建築だ、建て替えろという話になるとしたら、結構厳しいかなと思います。

【委員】

そのとおりだと思います。やはり、ますます建築基準法が厳しくなって、最初から私よく言う、2項道路に関する法律、私道部分の奥まったところはもういじれないだとか、そういうふうに建築基準法が厳しくなっているので、じゃ、それを今後どうするの、もう既存不適格建築物だからいじれないから、どうするのとなったときに、いろいろとあれしたときに、朽ちるまで放っておくようにするしかないよねというふうにだんだんなってくると、これが本当に防災対策なのかというふうになっていくんですよね。だから疑問を感じるというのは、そこなんですよ。

【部会長】

昔、2.4メートルの道路があつたら家建てられたんですけども、2.4の基準がバキュームカーがすれ違うことができるというものだったんですけども、今4.0は赤い消防車のすれ違いの4.0で、2.4で建てた家に今度新築、建て替えますとか床面積を増やしますといたら、4.0だから1.6掛け、下がれという話はちょっと、高齢の方が思い切ってやるより、どっちかという、もう相続で受け取った人が長期的にやる話で、言い方は悪いですけども、所有者の状況が変わるまで待つしかない案件が多いかなと。

【委員】

もういじれないですからね。

【部会長】

80歳の方に、ちょっと建て替えしている間どこか行けというのもきついから、正直言うと、時間かかるのが残っているのかなとちょっと思います。

【委員】

そういう法律の壁が随分あると思います。

【委員】

結論はもう皆さんが決めたとおりで全然異論ないんですけども、ちょっとすみません、数字で気になったのが、私、ヒアリングでは耐震化率96.6と課長は発言していたんですが、96.2なんですか、この辺は。

【事務局】

内部評価シートをご覧いただければと思います。指標の2番に住宅耐震化率があり、令和6年度の実績値として97.0%と記載されています。ヒアリングで説明のあった数値との相違については、確認が必要かと思います。

【委員】

統一した数字を使っておいていただいたほうが。みんないろいろなことを言っていますから。

【事務局】

そうですね。数値については、確認する必要があるかと思います。

【委員】

この前、ヒアリングのときに、令和9年度にはほぼ解消するというようにお話があったんですけども、耐震化率がほぼ解消というのは100%に近くなるということですかね。そういう実感がないけれども、私。

【委員】

この間の回答だと、残り7,000戸ぐらいだから、達成するという説明でした。

【委員】

残りが7,000。

【委員】

ちょっと7,000 幾らか忘れちゃったけれども。

【委員】

7,000 って多いよね。一、二年でできるのという感じ。

【委員】

マンションがあるんでしょう、一戸建てじゃないんでしょう。マンションも含めてでしょう。

【委員】

いや、私が言っているんじゃないくて、そういうふうな説明だったと思います。

【事務局】

ヒアリングの場合は、所管課から、残り約7,900戸との説明がありました。

【委員】

大体合っていました。数字だけは覚えている。

【委員】

それを一、二年でほぼ解消できるの。

【委員】

一戸建てじゃないんでしょう、マンション、集合なんでしょう。

【委員】

マンションという限定。

【委員】

いや、マンションも含めてという話でしたよ。

【委員】

細街路のいろいろなものを見て、この前も若葉・須賀町のそれを見たって、まだ全然、あと何十年かかるか分かりませんという感じだよね。

【委員】

今日そこまで議論しなくてもいいんじゃないですか。

【委員】

そうだね、時間が時間ですから、ある程度まとめないと進みません。

【部会長】

ありがとうございます。

20②の建築物の耐震性強化（擁壁・がけの安全化の総合的な支援）なんですけど、私のほうなんですけれども、これも助成事業とかアドバイザー派遣事業は目標に達しなかったけれども、助成率や助成金額の拡充等を実施していて改善が期待できるためというので、計画どおりにしております。

【委員】

特に大きな意見はなくて、計画どおりでいいと思っています。

以上です。

【委員】

私も計画どおりでいいと思います。書きましたけれども、区のヒアリングで、やっぱり建物と一体だから、難しさについて私は理解したので、計画どおりにしました。

【委員】

すみません、私だけ計画以下になっているので、これは計画どおりに変更していただいて

も構いません。やっているということは分かっているし、何もやっていないとは思っていないんですが、やはり目標数値とのかけ離れがあったので、しかも2年連続低かったというのがちょっと引っかかって、一応私の意見として計画以下とさせていただきました。でも、皆様の気持ちも分かりますので、計画どおりでも異論はございません。

【委員】

私は計画どおりとしたんですけれども、一番下のところで、一応計画どおりとしたんですけれども、やはりいろいろここも課題があるから仕方ないといえば仕方ないところであって、大企業に対する、そういうがけや擁壁の開発に対して援助とか補助は全然出ないわけなので、そういうのを含めると、今やっぱり大きな建築業者が高級マンションを造るに当たって、そういうところはもう解消はされつつあるのはあるんですけれども、ちょっと付け加えたんですけれども、やっぱり緑だとか、そういうものを全て削ってマンションを建てるとかいうんじゃないくて、やはり環境に配慮した開発をしていただきたいというのが一つの意見で、私の評価のところに3,500か所というふうに書いてある、これは高さ1.5メートルのがけの数をグーグルのスマホで、新宿区内のがけの数は幾つと聞いたら3,500と出たんですね。ですから、私が利用したグーグルのAIが誤った情報を示したのかも分かりませんが、実際にいろいろと調べていくと2,310何か所とかいう数字も出ていたので、ちょっと3,500は多いのかなというところでございます。

以上です。

【部会長】

54とか32とかもAIの数字ですか。区域はそのままでした。

【委員】

これもグーグルで聞いたらそのように出ました。何かの文書を探したら、この数はほぼ合っていたような気がしました。

【部会長】

グーグルってジェミニというやつですか。

【委員】

あまり私、グーグルというかAI、よく分からないんですけれども、そのように質問投げかけたら、すぐぱっと数が出たので、あっ、これ便利だなと。委員を尊敬してしまいました。

【部会長】

評価の欄ですけれども、委員の、目標に届かない支援、助成があるものの進捗が認められるだとか、助成率や助成金額の拡充等を実施しているとかいうのを書いてもらって、計画どおりというのでよろしいですか。ありがとうございます。

取組の方向性に対する意見なんですが、事務局のほうで全体をまとめたようなのを作っていただいてお示しして、でよろしいでしょうか。

【委員】

20①のところと 20②の取組、私の書いた部分で、皆さんがおっしゃるように、資料だけだとちょっと分からないところがあって、でも、課長さんだか建築指導課の人でしたっけ、割と把握はされていたというのがあって、それがちゃんと資料に反映されていない部分があったと思うので、なので、ちょっと私が書いたのが、①のほうは、診断、設計、工事の各段階で利用に至らない理由をさらに詳細に分析して、個別訪問や助成拡充の効果を検証する、こっちの②のほうも、検証して、過年度実績を踏まえて目標値を点検することを期待すると書いているので、その辺多少、次にさらによくなるようにという視点もちょっと加えていただければ有り難いと思いました。

【部会長】

それは加えたいと思います。向こうは今までの流れとかストックが分かっている、こっちはこの何年かの分しか出ていないから、全体が分からないところがありますね。

【委員】

あと私、この取組に書いた、これはたしか委員が質問していたことと同じかもしれないけれども、全員 2,300 件に送ると、掛ける今 100 円か 200 円か、郵送料と人件費かかるので、可能性があるやつだけ送ればいいんじゃないかというのは提案したつもりです。経費が無駄じゃないかという指摘は一つ、いいんじゃないか。あまり動く見込みがないのは 3 年に 1 回で十分と書いたのは、新宿区の行政の経費と時間のあれの効率化を提案したつもりです。

【部会長】

郵送に際して人件費等も考慮して効率化を検討されたい、ぐらいで。みんながあれこれ書きゃうと、何をしろと言うんだとなるかもしれないので、まとめて判断は事務局にしてもらえれば。

その他の意見・感想なんですが、私は特に。委員の、資料から分かるように記述の工夫を検討、これをちょっと生かす形で、委員のこれは、根拠は A I だけだと、入れるのはあれで

すけれども。

【委員】

A I というのは数だけね、数だけ A I であれしたので。がけ・擁壁のところは、やっぱりある程度環境にも配慮していただきたいというのが私の意見といえは意見です。確かに落合のほうに行くと、やはり川があって、その上がずっと丘になっているので、どうしてもがけが多いんですね。そのがけにはやっぱり緑がずっと昔、森があったんですけれども、そこがだんだん開発されてマンションに建て替わったりして、緑が少なくなっていると思います。でも、緑は大切ですので、そういうのを配慮しながら、ぜひ開発をお願いしたいなと思います。

【部会長】

委員の意見は、数字とかは丸めた形で、ちょっと抽象的な形にして載せていただければと思います。

【委員】

今の 3,500、調べてみたんですけれども、令和 4 年度の新宿区外部評価委員会で建築指導課長が説明しているらしいです。平成 21 年度当時に、区内全域のがけ約 3,500 か所の調査をしてございますというふうな発言があるらしいです。参考までに。

【委員】

きちんと出典があるわけですね。

【委員】

3,500 という数が出るのは出たので。

【部会長】

出典があるのであれば、3,500 と入れていただければと思います。

21①の木造住宅密集地域の防災性強化なんですけど、これは全員計画どおりです。

一応これ、私のほうから、用地取得や新規用地取得に向けた調査を計画どおり行って、広報活動も適切に行っていると思ったので、計画どおりにしました。

お願いします。

【委員】

特に問題なく、計画どおりとしました。

【部会長】

特にコメントなければ、無理にしゃべらなくて大丈夫です。

委員、お願いいたします。

【委員】

私も問題なく、計画どおりとしました。ただ、次のページの取組に書きましたけれども、去年から今年は、去年 58.9 で、今年 59.2 で、これも職員のコメントですけれども、2 年で 1%なんですね。そうすると、70%が目標ということはあと 20 年かかるというのは、ちょっと遅いんじゃないかというのは、今後の取組で書きました。

以上です。

【委員】

私もこれに関しては特に何もございません。計画どおりでいいと思います。

【委員】

私も若葉・須賀町地区を視察して歩いて、やはり問題点はたくさんありますけれども、区も一生懸命取り組んでいらっしゃるの、一応計画どおりとしましたけれども、先々何十年かかるのかなという懸念はございます。新しく、建物もそうですけれども、まず道を造って道を広げて、そこから建物をいじっていかないと、先に建物をいじっても、2 項道路の問題だとセットバックがありますけれども、なかなか難しいのかなと。だから、先に道路を買収せざるを得ないのかなというふうに思いましたけれども、担当された、防災都市づくりの職員の方、一生懸命少ない人数で取り組んでいらっしゃるの、頑張ってくださいと言わざるを得ないなと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。ここはもう割れずに、計画どおりでさせていただければと思います。ここは 5 人の意見をまとめるような形で。

今後の取組の方向性に対する意見は、委員のおっしゃるとおり、2 年で 1%だと 20 年間かと思うところはあります。

【委員】

実はこういう地域ってほかにも幾つもあって、たまたま東京医科大かな、があるんですけども、そちらのほうのすぐ横のところの一角が木密の、本当にちょっとしたエリアなんですけれども、もう古い建物があって、一軒一軒の。どうなるのかなと、細い本当に 1 メートル

ルもないような道を歩きながら思っていたんですね。どんどん空いていて、空室というか空き家になっていて、危ないなと思いながら歩いていたんですけれども、あるとき急に全部建て替えになって、マンションが何か大きなものが建ったみたいなんですね。だから、今はたまたま空きが少ないので0.1%しか進んでいないですけれども、きっと何かのきっかけでどんと一気になくなると思うので、20年とはかからないのかなというのはちょっと思いました。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

今おっしゃったのは共同建て替えというんですかね。

【委員】

一斉になくなって、ちょっと詳しい、地権の問題もあるのか分からないですけれども。

【委員】

それが進めばいいですね。

【委員】

だから、そこが空くまで多分ずっと我慢していたんでしょうね。もう一気に全部きれいにして。

【委員】

ここに書いてはいないですけれども、たしか視察のとき私、質問したと重なりますけれども、ちょっと4人は少ないなと思いましたね。

【委員】

それは思いました。

【委員】

あえて、それは人事配置問題だから、そこまで私たちが言及するのはあれだけれども、結局これ、マンパワーが必要な事業だから、交渉と、お金さえ詰めばできるというやつじゃないから、私はスピードアップというふうに割と柔らかく書いていますけれども、ある程度ちょっと人を増やしてほしいという、担当の職員の方にも言われていたから、そこら辺のことはもっと戦略的に区として考えるべきだというコメントは、どこかちょっと加えてもらえると思いますけれども。部会長、どうでしょうか。

【部会長】

集中してとか重点的にとかという感じで、集中的な取組を行われないぐらいな感じで、人を増やせはちょっと言いづらいかなと、そんな感じでまとめさせていただければと思います。全体的に取組の方向性に対する意見は対立しているものはないので、まとめるような形でお願いできればと思います。

意見・感想は、されてはどうかというのと、感謝申し上げますというのは、どうしようかな。

【委員】

私は今後の取組のほうに入れたんですけども、その意図としては、その他の意見・感想の委員と同じような方向性で書きました。本当にさっきもおっしゃったようにマンパワーが大事なので、やはりそこはもうちょっと人間味のあるような温かい配慮というのがないと事業が進みにくいんじゃないかというのは、実際に現地を視察させていただいて強く感じたところです。

【部会長】

検討されてはどうかで、あまりころころ異動させるなよというニュアンスも入るかなと思うので、それでよろしいでしょうか。

【委員】

もちろん、それは絶対入れたほうがいい。

【部会長】

それをまとめる感じでよろしいでしょうか。

【事務局】

委員がその他のご意見・感想欄に書いていただいた内容は、今後の取組の方向性に対する意見のほうに移させていただきたいと思います。

【部会長】

2つまとめて、方向性に対する意見でいいですかね。ありがとうございます。

次の 21②で、木造住宅密集地域の防災性強化で、これは計画どおりが 4 人で、委員が計画以上にしている感じですね。

私のほうはもうシンプルに、目標値を順調に達成しているためとさせていただきます。

【委員】

上のサマリーで計画どおりになっていますけれども、実質、計画以上かなと思っています。

要は、不燃化特区が指定解除されたということなので、計画自体、令和9年度までなので、計画以上じゃないかというふうに思っています。

【委員】

私も計画以上にしました。74%という数字を見れば、ちょっとあれでしょうけれども、普通の企業だったら評価はプラスですよ。それで、ここにコメント書きましたけれども、まず、もう達成しているものを対象事業に選んでいること自体はちょっと疑問だと思う。もう達成で明らかなのに、それを評価に選んでいることは疑問だけれども、普通の企業だったら目標7割で74%達成したら、もう計画以上しかないなと思いました。

【委員】

計画どおりとしました。ただ、計画以上に变えても、ここは構わないと思います。

【委員】

一応、計画どおりとしました。私、さっき言いましたけれども、この地域、まち歩きをずっとしてみたんですけども、この地域は北エリアとか中央エリアとか南エリアとか、いろいろと細かくブロックごとに開発のあれが分かれているんですね。今残っているのはこの南エリアというところなんですけれども、やはりそこを見ると、まだ木密住宅みたいなのがやっぱり多いですし、ここに書きましたけれども、ちょうど神田川、中野、渋谷区との区境でもありますし、若葉・須賀町地区を担当していらっしゃった職員の方が、私もこの西新宿五丁目担当しているんですよというふうにおっしゃっていましたので、共に頑張っていらっしゃるんだと思いますけれども、残った南エリアのこの部分、やはり暗渠になっている川を埋め立てて、それを道路に使っているんですね。そういうのもあって、大分解消はされていますけれども、やはり残った地域の引き続きの開発事業には、縮小されて経常事業みたいになってしまいますけれども、引き続きお願いしたいというところです。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。皆さんのお話聞いて、評価がとても高いので、計画以上にして大丈夫でしょうか。じゃ、これは計画以上にさせていただいて、まとめるような形にさせていただいて。

今後の取組の方向性に対する意見は、指定解除だから、これはもう今後はないので、変に言うとか変でしょうか。

【事務局】

令和 6 年度の実績値は既に 74%となっており、目標値を達成しています。一方で、内部評価シートを見ますと、令和 7 年度の主な取組としては、まちづくりニュースの発行などによる活動の周知が中心となっています。

今回の評価では令和 7 年度を取組内容を評価していただくことになりますので、「計画以上」とするかどうかについては、令和 7 年度を取組内容を踏まえて、改めてご検討いただければと思います。

【部会長】

そうすると、「計画以上」は変ですか。

【事務局】

目指していた水準を達成したという点については、高く評価できるものと思います。ただ、今回の評価区分については、目標を達成したことだけではなく、令和 7 年度にどのような取組を行ったかという点も含めて、ご判断いただく必要があるのではないかと思います。

事業が着実に実施されていることは確認できますので、その上で「計画以上」とするのか、「計画どおり」とするのか、改めてご検討いただければと思います。

【部会長】

それでは、計画どおりでよろしいでしょうか。ご指摘ありがとうございました。助かります。今後の取組方向性に対する意見も、各委員に書いていただいたんですけども、これはもう終わったから、今後という意味で書くと変で、もしあれだったらその他の意見・感想に書くとかのほうがよろしいでしょうか。

【事務局】

そうですね。ただ、引き続き経常事業に位置づけて取組を行いますので、部会長や委員のご意見については、今後の取組の方向性に対する意見としてまとめていくことも考えられるかと思います。

【委員】

一応事業は終わったんですけども、この地図を見ていただければ分かるんですけども、西新宿五丁目の南エリアというところは実際にはまだ残っているんですよね。けれども、共同建て替えだとかそういうのは一応もう北エリアのほうとか中央エリアは済んだので、経常事業にというふうになっているんですけども、まだいろいろな面でこの地域、残

っているので、やはり事業は縮小して経常事業にはなるけれども、引き続きやはりこの地域はお願いしたいというか、それをやっぱり入れたほうがいいとは思っていますので、一応 70% 以上になっている、実際 75 ぐらいになっているんですけども、だからもう終わりました、それで終了ではなくて、残りの部分も努力していただきたいというのが現状です。

【部会長】

ありがとうございます。その他意見・感想の委員も大体同じような感じなので、この辺をまとめて方向性に対する意見で、経常事業になった後も引き続きしっかりやられたいという形でお願いできればと思います。

その他意見・感想は、委員のは、思われますとかだから、すみません、削らせていただければと思います。ありがとうございます。

続きまして 23、細街路の拡幅整備ですが、これは 5 人中 4 人が計画以下ですね。

最初に私のほうからなんですけれども、説明を聞いて、2 年連続下回っているのに新たな取組が見られない。今までは、下回っていたんですけども、単価を上げたりだとか対象を広げたりしたけれども、これは新たな取組が見られない、2 年連続下回っているのにアクションがなかったなので、計画以下としました。

【委員】

全く同じ意見なのと、あれですよ、達成度 75% で約 8 割だから計画どおりとか、そういう説明もあったのと、あと、声かけの 20 件の理由も分からなかったですよ、正直言って。なので、そういうのを付け加えて、計画以下と思いました。

【委員】

繰り返して、あのときも質問しましたがけれども、声かけが年間 20 件というのを割ると、声かけが一月に 1 件か 2 件なんだよね。そうすると、これもまた民間企業とかで考えても、1 か月に 1 件か 2 件という目標でいいのかというところですよ。声かけだから、達成度を言っているわけじゃないから、もうちょっと、20 件の設定が業務量として少ないというのが一つの理由でした。それともう一つ、これは委員があるとき質問されていましたが、箇所数とキロ数は明確なのに件数が分からないと、これが論理的じゃなかった気がしましたね。だって割り算でできるわけですよ、細街路のキロ数と何か所というのを区は把握しているわけですから。ですから、目標設定自体の両方とも甘さがあると思って、計画以下としました。

【委員】

皆様の意見とほぼ同じです。声かけだけは確かにしていますけれども、やっぱり件数、目標は達成していますが、声かけがこの件数は1年間では少ないと思うのと、あとやっぱり実際の目標が達成していないということで、計画以下としました。

【委員】

私もこれ、今日の午前中、家でもう一回読んでみたら、ここには一応計画どおりと書いてありますが、「一応」がついているんですけれども、やはり計画以下ではないかなと心の中で思って、悩んだところでございます。やはりこれ、42条の2項道路に関係することではあるんですけれども、難しいといえば難しいんですね、なかなか相手があるものだから計画どおり行かなかったんだと言え、それで終わるんですけれども、どうして一応計画どおりとしたかという、予算の執行は4億3,827万5,000円も使って、執行率は97.9%であるということは、予算はもうこれ以上使えない状況で、97.9%も使っている、これ以上駄目なのかなというので、「一応」というふうにはつけさせていただきました。先ほどの個別の声かけが22件、これ110%というふうになっているんですけれども、年間20件の目標に対して22件やったから110%できました、万歳というのは、ちょっとどうなのかなと。その後の括弧の中ですね、工事の実施見込みが2件となっているんですね。それだけ声かけて2件できるからいいんじゃないかと言え、そうかも分からないけれども、やっぱり細街路のいろいろな問題を見たら、もっと積極的にやっていただきたいのが現状ですので、計画以下で私も結構でございます。

【部会長】

ありがとうございます。全体として計画以下にして、目標を下回っているのに新たな取組をしていないですとか、あと声かけの基準が不明瞭だとか、目標設定がおかしい、それは取組の方向性に対する意見にしたほうがいいのか、ちょっと。声かけの基準の明確化とかは今後の取組の方向性に対する意見。

ちょっと最後まで見ます。次に、今後の取組方向性に対する意見なんですが、声かけの目標数の根拠が不明だとかですね。目標設定の明確化を今後の取組の方向性に対する意見のほうに持ってくる形でお願いできればと思います。それでよろしいでしょうか。

その他の意見・感想ですけれども、委員の75%だから8割というのも理解しにくいと書きたいけれども、ちょっときつい気がする。もうヒアリングでこの言い方は結構課長さ

んに伝わっている感じはするんですけども。

【委員】

私もここに書きましたけれども、私たち外部評価委員というのは、確かに目標設定のあれも大事だけれども、区の職員が難しいことにどうやって努力しているかというか、その努力度合いが明確にできていないから評価できないと思うんですね。だから、できなくても、努力度合いが分かるようなことを区の方が言ってくればよかったけれども、それが得られなかったので、ちょっと同じことですけども、区の職員にも言いましたけれども、区民から見て分かるような数値とか目標値を設定してほしいというのは言ったつもりです。区民から見てというか、素人から見て。

【委員】

ちょっと話がずれるかもしれないですけども、一応こういう評価とか区役所の職員の方って一定以上の能力があるという前提で各部署について仕事をされているという前提だと思うんですけども、やはり担当者によって対応に差が出ることはあると思います。評価として書くかどうかは別ですけども、組織として何か気づけるような指摘を入れていたなければ有り難いなと思いました。今後の新宿区がよくなるためにも。

【委員】

そうですね。

【部会長】

声かけの定義は、何人かが聞いたけれども、結局、具体的なところがよく分からなかったですよね。声かけ、カウントの仕方によっては、電話して、出なかったため留守番電話に残ただけで1件と数えていたら、もう3分で終わっちゃうようなことで。

【委員】

1日でできますよね。

【委員】

例えば、あまり指摘ばかりしちゃうとあれだから、区民から見てとか、誰から見ても分かるような、声かけという言葉をやめて、何か具体化するためのアクションとかね。声かけという言葉自体が漠然としているから、声かけばかり追及していくと、いい悪いになっちゃいますから、例えば、課の人が設定する対象戸数、対象件数に対してのアプローチとか何か、声かけだけだと、今、部会長がおっしゃるとおり、電話するだけで済んじゃうじゃないかと

区民は思いますよ。だから、誰から見ても努力しているような、言葉を変えたらどうなんだろう、声かけじゃなくて。本当はこの区の担当課が考えなきゃいけないことだけれども、自分の課を評価してもらおうと思ったら、声かけはやめて、対象戸数へのアプローチの方法とか何か、それは今後の取組の提案ですけれども。

【部会長】

声かけ等、曖昧な表現はやめて、目標設定を明確化されたいとか、そんな感じ。

【委員】

変な話ですけれども、そう書いたらきちんと所管に伝わるのかなとか。この間の質問の会話で、分かる人は多分何を聞かれているか分かると思うし、もし質問の内容が理解できて、できていないのであれば多分、答え方とかも変わってくると思うんですけれども、話が平行線だったので。きちんと伝わってきちんと理解していただいて、変えようと思っていただければ、多分変わりようがないと思うので、評価は評価ですけれども、最終目的は、きちんと計画どおりに区役所の方々が仕事をさせていただくのが真の目的だと思うので、そうするためにどう伝えるのか。教科書的にという失礼ですけれども、委員が言うようなことは、確かにそれで正解だと思うんですけれども、それを反映していただくためにどうしたらいいのかなと、ちょっと考えたんですが。考えたというか、結論はないんですけれども、いかがですか。

【委員】

多分この細街路を担当しているのは都市計画部の建築調整課なんですね。建築調整課って多分これだけじゃないと思うんですよ。建築調整課は多分これだけをやっているわけではないと思うので、これ以外の仕事も含めて、課として全体でどう取り組んでいるのかが分かれば、もう少し評価しやすいんじゃないですかね。これに特化しなくてもいいから、逆に、これが難しくても、課として全体でやっていることはこうだからとか、その辺のことも分かれば、響くんじゃないですかね。これだけ言うと、やっていない、やっていないとなっちゃって、責めちゃうけれども。

【部会長】

計画以下をつけるだけでも結構伝わるというか、声かけの内容が分かりにくかったことも書けば、所管には伝わるかなと。

【委員】

今思いつきました。どうやったら響くかというもう一つのアイデアとして、私たち外部評価委員が聞いてもいまいち分からなかったわけだから、例えば、今後の取組として、この細街路についてはどうやっているかを建築調整課は区民へ説明できる資料を作ってくださいとか、分かりやすく説明する資料を作ってくださいとか、そういうのだとやる気が出てくるんじゃないですかね。ちょっと私、やる気を出させようという方法を考えていて、あまり指摘するだけとかかわいそうだから、その人がモチベーションを上げてやる気を出させようとしたら、これ区民に説明しなきゃいけないのか、ぐらいを思わせたほうが響くんじゃないか。声かけ 20 件じゃ区民納得しないなと誰でも思うはずですよ。アイデアですよ、その人をやる気にさせる方法は何かと思って、今思いついたんですけれども。

【委員】

今、委員がおっしゃったような、やる気にさせるというのがすごく大事だと思うし、区民に分かりやすく説明するのも大事だと思うんです。実際にこの間見学、視察に行ったときに思ったのは、本当に大変な仕事だと思うんですよ。それこそ全部セットバックして道の幅を作らなきゃいけない、提供しなきゃいけない、しかもそれにはお金が関わってくるという部分があったので、一軒一軒の、例えば、ここはオーケー、こっちはノー、こっちはオーケーとした場合に、ある程度の距離数がまとまらないと、そのまま中途半端な状態になっちゃうわけですよ、結局。だから、これは本当にすごく大変なことで、担当の方がおおむね目標達成しましたとここに書いてあるんですけれども、それもすごくよく分かるんですよ、言いたいことは。それだけ大変な仕事で、ここまで頑張ったんだよという部分は、やっぱりちょっと言葉として、評価として、そこは頑張ったねということを書いてあげつつの、計画以下という感じのほうがいいのかなと。やっぱり、やったねという部分は褒めてあげたほうがいいような気はします。本当に大変だと思いました。

【委員】

やはり細街路の拡幅整備というところ、細街路というのはそれこそ、いつも言っていますけれども、2 項道路の問題があって、これを集中的に拡幅するにしても、まちづくり計画だとかまちづくり構想だとか、そういういろいろなものがないと、ほとんど援助されないというような状況があるのかなと。実は数日前にある友人と話をしたら、今から 40 年前にセットバックしたらいいんですね、道路が広がるのはいいことだからといって積極的にセットバックしたら、両隣や近所の人たちは誰も応じてくれなくて、いまだに細いまま 40 年た

っていますと、これっていつになれば4メートル道路できるんですかねというような話、変な話ですけども、したんですよ。そういうのを見たときに、それこそ法律的なものも大きいし、大変だとは思いますが、もしそれが私道であれば、私道のまま放っておくのがいいのか、やはり区道として計画を作って、セットバックをしていただいて区道として買い上げるというか、維持管理をするのかとか、そういうのを積極的にやらないと、本当に待っているだけでは50年たっても全然進まないと思うんですね。ですから、やはりこの声かけだけじゃなくて、実際に足を運んで説得して、断られても断られても、また来たのかというぐらい足を運んでいくという、そういう部署の課長さんは大切だと思うんですね。

やはり現場へ部の課長さんたちが実際に足を運んで、現場の声を聞いて、そして何度も何度もお願いして、それでもやっぱり無理なところは無理が生じますけれども、そういう努力を一生懸命している姿を区民に見せていただきたいなど。さっきの若葉・須賀町地区の、この方は一生懸命現場で働いていらっしゃるから、難しいものは難しいよね、計画どおりだよねと行くんですけども、取組の状況が十分に見えてこないから、もう少し頑張ってもらいたいということで、計画以下になっちゃうんだよという、そういう意味もあります。そういう意味も込めて、やはり、もっとアプローチして、やっていただきたい、そうしないと直下型地震もう起きちゃうよというのが私の思いであります。

以上です。

【委員】

すみません、ちょっと話を戻すと、さっきまで議論していたのは、みんな計画以下というのは合意したんですけども、いかに響かせるか。部会長のほうから、計画以下にすれば響くんじゃないかとおっしゃったけれども、逆に事務局にお聞きしたいのは、計画以下になった人はどういうものを私たちに返してくれるんですかね。

【事務局】

昨年度の外部評価実施結果報告書もご覧いただいているかと思いますが、評価区分によって対応が変わるわけではございません。いただいたご意見については、「今後の取組の方向性に対する意見」や「その他意見・感想」の欄に記載された内容を含め、区として今後どのように取り組んでいくのかを「区の対応」欄で回答させていただいております。

【委員】

分かりました。多分そうなると計画以下と書いても結局、私たち外部評価委員とか読む人

に返しているだけで、さっき僕が言っていたのは、区民に対して何か分かりやすく、自分に欠けているところがあるんだから、分かりやすく表明するとか、何か計画以下の人はもうちょっと対応方法を改善してほしいと思いますね。そうしないと響かない。単に計画以下と書いたって、私たちに対する文書で返すだけでしょう、今の話だと。それだけだと、何か実際に区民に響かせるようなことを対応してくれるようにしてほしいと、そういうことです。

【部会長】

内部評価でつけた評価より低いのがつくって多分あまりないと思うんですけども、結構、組織として重く受け止める内容ではあります。気にする人と気にしない人がいますがね。

【事務局】

例えば、各部会で取りまとめていただいた外部評価の結果については、最終的に私どものほうから区議会へ報告しています。その際、所管課による内部評価と外部評価の結果が異なる事業については、その内容を説明することになります。

そのため、今回そのような評価をいただくということは、事務局としても重く受け止めています。

【部会長】

ありがとうございます。取組の方向性に対する意見で、2年連続下回っているんだから、何か新しい取組をなさいよというのと、声かけだとかも曖昧な表現をやめて、区民目線で目標を再設定されたいとかいうことを、ちょっと強めに書く感じでよろしいでしょうか。

【委員】

実際に訪問したりしているのかなという、声かけというのが電話で声かけになっちゃうと、それこそ動いていなくなっちゃうから、実際に訪問してアドバイスするとか。アドバイスも建築何とかアドバイザーみたいなのがいたりとかするから、難しい面もあるかも分かりませんが、それと一緒にいくとか、もっと現場に足を運んで訪問していただきたいという。

【委員】

評価のところに書いてあるのが、区民からの相談があった敷地に対し22件と書いてあるんですね。ということは多分、電話かもしれないし、直接行ったのかもしれないですけども、働きかけは区民からあったと思うので、そこはきちんと対応はされているんじゃないかなという推測です。

【部会長】

例えば税金の徴収の部署とかを見ていると、上司がちゃんと仕事しているか監督するんですけれども、電話が月何百件、お手紙が月 200 件で、それでも来なかった、10 回手紙を書いても反応がない方については、直接戸別訪問をするとかいうことが多くて、全部ひとまとめで声かけと言っちゃうと、ちょっともう大ざっぱで、具体的に何をやったのか分からないという感じはあります。直接交渉 20 件だと、まああれですけれども、お手紙 20 件だと、ちょっとあれだから、声かけは漠然とし過ぎていますよね。

方向性に対する意見、さっき言ったような感じでよろしいでしょうか。2 年連続下回っているのに新たな取組が見られないのはいかなものか、というのを書いてもらうのと、あと声かけという漠然としたのじゃなくて、区民も納得するような区民目線の目標設定をしてくださいと言って、議員に説明するときにそれも多分お見せになるので、それでよろしいでしょうか。

意見・感想は、委員はちょっと強いので、私も思いは一緒なんですけど、消していただいて、委員の、交渉を続けた方が有利となり、早めに応じた方が不利ではないかと、おっしゃるとおりなんですけど、ちょっと書きづらいので。委員も、積極的に行っていただきたいは消しても大丈夫でしょうか。これは全体の中にまとめるような形でさせていただければと思います。ありがとうございました。

【委員】

この啓発を個別にというのは、訪問して、それこそ家のことを聞きながら一緒に対応してもらいたいというような、そういう意味で書きました。

【部会長】

ありがとうございます。

計画事業の 24 の道路の無電柱化整備で、これは 5 人とも計画どおりで、私は着実に実施しているためという、シンプルなんですけど、委員、何かありましたら。

【委員】

特に問題ないということで、ただ、ちょっと取組の方向性で、部会長もおっしゃっていますけれども、客観的な把握が難しい、工事の予定距離と出来高距離、完成の時期とか、何かしら補助指標をつけたほうが分かりいいかなというふうなことを思いました。

【部会長】

私も方向性に対する意見で書いているやつで、何々を完了したから 40%と、あまり無理に数値化する意味がない感じで、数値化しろと言ったから、無理にこじつけている感じはちょっと私、いたしました。

どうぞ。

【委員】

私も計画どおりとしました。でも、計画どおりとしたのは、この4つのエリアについては計画どおりと。取組に書きましたけれども、私、これヒアリングでたしか、4つに選定した理由はパブリックコメントで聞いたと、それで設定したと聞いたけれども、どういうパブリックコメントだったのかとか、4つのエリア以外の住民もこの外部評価シートって読むわけだから、納得できる説明を今後は期待したいというふうに書きました。

以上です。

【部会長】

委員、お願いします。

【委員】

皆様とほとんど同じで、ちょっと評価のしにくい事業だなというのはありましたが、取りあえず数字的に見て、計画どおりだなと判断いたしました。

【委員】

一応ここに路線が4路線ですか、女子医大通り、四谷周辺だとか、上落中通り、水野原通りと、この4路線に限って無電柱化を計画したものが、設計が完了したら20%だとか、さっきちょっと出ましたけれども、水野原通りが工事達成されるのかな、今後100%になるのかなというような状況ですけれども、都道は都がやることだというふうになっていると思うので、区道に関して区がやるということなんですけれども、計画している路線があるから計画どおりとはしているんですけれども、今後の取組や意見のところには、本当はもっと、細街路にも電柱が増えているし、そういうのも何とかならないのかというのが本音であります。

私の意見・感想のところには変なことをちょっと書きましたけれども、将来、各家庭の太陽光発電シート及び蓄電池技術が開発されて電柱がなくなるといいな、みたいなことを書いてしまいましたけれども、これは将来の夢だとは思いうんですけれども、電柱というのは本当に邪魔といえば邪魔だし、だけれども必要といえば必要だし、本当にもっと計画的

に、道路の下にはみんなもう共同溝を埋めるのを前提に道路を造ってもらいたいぐらいの、電気、ガス、水道、そういうライフラインはみんな共同溝の中にもう全て納めるというのをまちづくりとして本当はしていただきたいなというんですけれども、今となっては無理だと言われれば無理だし、こういうふうに決めた路線を計画を持ってこれだけ、これだけというふうにやっていかざるを得ないんですけれども、何百年かかるんですかね。

【部会長】

むちゃくちゃお金かかるんですけれども、都が補助して、どんどんやっていく感じで。

評価はもう全員計画どおりなので、そのままにさせていただいて、もう数値化は、無理に数値化しているだけで、遅れずに進んでいますぐらいな意味ですけれども、着実に実施しているためとしていただいて、取組の方向性に対する意見で、指標があまり意味がないんじゃないかというのをぼかしながら書くのと、委員の4つのエリアの設定理由、私もちょっと、パブリックコメントって私の感覚だと、原案を作ってみて、区役所としてこの4つやりますと言って、パブリックコメントでご意見くださいと言って、特にあまり意見もなきや、パブリックコメントをしましたということで、パブリックコメントにかける前に4つのエリアは出しているんじゃないかという感じはするんですが、ちょっとパブリックコメントだけでは、設定した理由が分かりにくい感じもいたします。4つのエリアの設定理由等は対外的な説明ができるようにしていただきたいという、ちょっと重たいかな。

【委員】

委員が書いた意見、うまく書かれています。4つ以外の整備状況と区全体のと、うまく書かれていると思います。

【部会長】

その他意見・感想の委員の意見、今後の取組の方向性に対する意見で一緒にするような形で、ちょっとまとめていただければと思います。委員の意見は思いなので、ちょっと外させていただければと思います、その他の意見・感想のところですね。ありがとうございます。

それでは、25①の道路・公園の防災性の向上ですけれども、これは計画以上が4人で、計画どおりが1人ですね。

私のほうから、4,200平方メートルでやったけれども5,566平方メートルやっているのは、計画どおりをちょっとじゃなくてかなり上回っているので、計画以上にしようかと思いました。

【委員】

部会長と全く同じ意見です、数字を上回っていると。何かすごく謙遜されたい言い方をされていましたが、そこはよく分からなかったですけども、上回っているので、計画以上でいいんじゃないかと思いました。

【部会長】

ちょっとじゃなくてかなり、130 で出していただくと、3 割以上だとすごいなと。

委員、お願いします。

【委員】

今言った実績もそうだし、ここであえて計画以上と書いたのは、目標値も高く、令和 9 年末までに目標 16 万 6,512 平方メートルというふうに、目標値自体も高く設定しているので、計画以上としました。

【委員】

皆様と同じ意見です。

【委員】

私も、目標に対して達成度が 101.4%となっていて、お金の執行率も 100%でありますので、一応計画どおりとしました。

【部会長】

ありがとうございます。5 人中 4 人なので、これは計画以上にさせていただければと思います。これもまとめやすいので、数値中心にまとめていただければと思います。

委員の透水性舗装、原状復旧のときはちゃんとやるとたしか言っていた気がします。

【委員】

すみません、一言言わせてください。今、結構、先週の千葉じゃないですけども、環境変化が予測つかないぐらい雨量が増えてきているから、令和 8 年も令和 9 年も 4,200 平米と設定しているけれども、この環境変化に応じた目標値の設定が必要というのは重要な視点じゃないかなと思って、書きました。

【部会長】

重要かと思います。環境変化による豪雨の深刻化に対して目標設定を再検討されてはどうかみたいな感じをちょっと、褒めつつ、全体的に計画以上だからちょっと褒めて終わりたいけれども、すばらしいけれども、豪雨が深刻化して予測外のことも起こりかねないので、

目標設定をこまめに検討されたいとか、見直しも検討されたいぐらいな形で、お願いできればと思います。

【委員】

今、だから、実績は評価していていいんだけど、目標を変えるのは、評価というか、計画以上でいいんじゃないでしょうか。

【委員】

この項目は道路の治水対策ということなんですけれども、しきりに言っていらっしゃったのは道路の舗装、浸透性の、水が土に染み込みやすいような、そういう舗装というふうにされていたんですね。さっき委員がおっしゃったように、千葉の問題にしても、ふだん私たちも雨が降ったら水たまりができたりするのは困りますよね、歩くという意味で。車が走っても、水跳ねをばしゃっとかけられるのも嫌だし、そういう意味では、やはり水たまりのない舗装というのは大変重要なんですけれども、今後の意見のところとその他の意見のところを書きましたけれども、今の内水氾濫という観点から見ると、この道路の舗装だけでは本当に追いつかないのが現状でありますので、もっといろいろな対策を、河川対策を含めた、下水道の排水対策だとかそういうのも踏まえて、一緒に取り組んでいただきたいというふうに一応書かせていただきました。

【部会長】

豪雨が深刻化しているのもあって、他の事業との連携や目標設定の見直しも検討されたいと、まとめる形でよろしいでしょうか。下水が最初ですよ、豪雨対策。

方向性に対する意見はそれで、その他の意見・感想、委員の意見は、先ほどの今後の取組で、環境が変動しているのに、6 ミリメートルアワーって私はよく分からなかったんですけども。

【委員】

これは1時間雨量ですね。

【部会長】

1時間に6ミリぐらいは道路で吸収できると。

【委員】

今の対策として、雨水ますから流れ込んで、川へ流したりするのが1時間雨量が大体50から60ミリで、それに対応するように一応、今、都市づくりをしているんですけども、

今内水氾濫が起きるといのは 1 時間雨量が 100 ミリを超えるような、そういう集中豪雨
というか、そういうのにはもう 50 ミリ、60 ミリ対応だと内水氾濫を起こしてしまいますよ
という意味で、ここに書かせていただきました。

【部会長】

1 時間に 50 ミリ降ったら、10 ミリだと 5 時間たたないと下に染み込まなくて、というこ
とですね。ありがとうございます。

時間が 4 時の 2 分前です。この治水対策は、以上でよろしいでしょうか。これで半分ぐ
らい。

【委員】

計画以上ですね。

【部会長】

六、七割終わった感じで、今日はこのくらいで。ほかの部会は 1 日で終わった部会もある
みたいで、仕切りが下手で申し訳ありません。

【委員】

すみません、私たち、細かなことばかりで。

【部会長】

大事な話ばかりで、すごく勉強になっています。ありがとうございます。

今日はこれまで大丈夫でしょうか。次は、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

お疲れさまでした。事務連絡、簡単にですが、次回は 8 月 25 日火曜日、14 時から、今日
と同じ 6 階の第 4 委員会室で予定しております。よろしくお願いします。

以上です。

【部会長】

今日はこれで終わりにさせていただければと思います。ありがとうございました。

<閉会>